

---

2026年2月16日 発行

■■ 民紹協メルマガ通信 NO. 184 ■■

発行：民紹協

---

いつもお世話になっております。本メールは、2週間に1回提供しています。

<コンテンツ>

- ◆◆ 今週のひとこと
  - ◆◆ TOPIC
  - ◆◆ 気になる統計の動き—令和6年度の公的年金制度の概況
- 

◆◆ 今週のひとこと

---

## ■ 安眠願望

2月後半は、1年で一番眠い時期のように思います。社会人になってからは、普通の月が30～31日あるのに2月は28日と短いので、月の後半のスケジュールは過密になりがち。年度の区切りのある仕事に関係している人は、1年の仕上げの時期にあたり大変なことでしょう。学生さんも大変。受験の最盛期ですから、睡眠時間が少なくなっているうえに、いざ布団に横になっても将来への不安から眠れない時間を過ごすこともしばしばです。

OECDが、2021年に公表した国際比較データでは、日本人の平均睡眠時間は7時間22分で、加盟30か国の最下位。社会人だけでなく、9～18歳の子どもでも短いそうです。

健康を維持するためには、睡眠時間の確保が不可欠。睡眠不足が心身にとって危険であることは、労災における脳・心臓疾患や心理的負荷による精神疾患が、実は長時間労働ばかりではなく、長時間労働による短時間睡眠を大きな原因としていることから明らかです。

2月18日は「安眠の日」。1日8～9時間の睡眠をしっかりと実行するために設けられているそうです。18日にピンポイントで設定することは無理でも、2月後半の中に1日は自分の「安眠の日」を設定したいものです。

人間様がろくに眠れない中で、猫はゴロゴロと眠っていてうらやましいかぎり・・・と思っていたところ、そうでもないようです。2月後半は換毛期。新しい毛を作るには大変なエネルギーが必要と意識的に睡眠時間を増やしているとのこと。彼らのように心身のメンテナンスに配慮しましょう。

☆-----☆

## ◆◆ TOPIC

このコーナーでは、最近の労働関係の動きの中から、民間職業紹介事業に関係のある話題を紹介しています。

---

### ■ 1 高年齢者の労働災害防止指針を公示／厚労省

厚生労働省は、2月10日、労働安全衛生法第62条の2第2項に基づく「高年齢者の労働災害防止のための指針」を公示しました。これは、同法改正により、2026年4月1日から、すべての事業者に対し60歳以上の労働者の安全確保を目的とした職場環境改善や作業管理が求められるようになったことに伴い、指針を策定し、事業者が講ずべき措置を定めるものです。

<詳しくは>

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/anzen/newpage\\_00010.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00010.html)

### ■ 2 新卒採用で初任給を引き上げた中小企業は6割超／民間調査

日本商工会議所は、1月30日、「早期景気観測調査」(LOB0調査)の結果を発表しました。これによりますと、新卒採用(2026年4月入社)を実施した企業は34.4%で、計画通り採用できなかった企業は70.7%に上りました。新卒採用を実施した企業が採用活動にあたって取り組んだ事項として「初任給の引き上げ」(64.7%)が最も多く挙げられました。

<詳しくは>

<https://cci-lobo.jcci.or.jp/wp-content/uploads/2026/01/LOB0202601.pdf>

### ■ 3 大手企業の9割超が初任給引上げを実施／民間調査

経団連は、1月20日、「2025年人事・労務に関するトップ・マネジメント調査結果」を公表しました。この中で、初任給の引上げ要因では「人材確保」(83.4%)が最も多く挙げられ、2025年度については92.6%と9割超の企業が賃金の引き上げを行っていると回答しています。

<詳しくは>

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2026/002.pdf>

#### ■ 4 大学生の興味のある社会問題の1位は「インフレ・物価上昇」／民間調査

(株) マイナビは、2月3日、2027年卒業予定の全国の大学生等を対象に実施した「ライフスタイル調査」結果を発表しました。この中で、学生が興味のある社会問題が調査されていますが、1位は「インフレ・物価上昇」でした。上位3位を男女別に見ると、男性は1位「インフレ・物価上昇」、2位「地球温暖化」、3位「年金問題」、女性は1位「少子化・働く女性支援」、2位「ジェンダー平等・社会的性差」、3位「食品ロス・フードロス」となりました。

<詳しくは>

[https://www.mynavi.jp/news/2026/02/post\\_51793.html](https://www.mynavi.jp/news/2026/02/post_51793.html)

#### ■ 5 就業者のAI活用はまだ低水準／民間調査

(株) パーソル総合研究所は、2月3日、全国の就業者（正規雇用者）を対象とした「生成AIとはたらき方に関する実態調査」の結果を公表しました。これによりますと、生成AIの業務利用頻度は、

- 7.6% ほぼ毎日利用している
- 4.1% 週4日以上利用している
- 6.7% 週2~3日以上利用している
- 5.7% 週1日程度利用している
- 4.2% 月1~3日程度利用している
- 4.2% 数か月に1日程度で利用している
- 67.6% 利用したことはない

となり、まだ業務における生成AIの活用が進んでいないことが明らかになりました。誰が使っていて、誰が使っていないのかをみると、20~30代男性は4割超であるのに対し、30代以上の女性や高齢層では利用割合が低く、管理職で利用が高い一方、経営層では相対的に低水準という傾向がみられました。

<詳しくは>

<https://rc.persol-group.co.jp/news/release-20260203-1000-1/>

## ■ 6 「採用活動」における AI の活用進む／民間調査

(株)マイナビは、1月19日、企業の採用担当者を対象にした「企業人材ニーズ調査 2025年版」を公表しました。このなかで、AIの採用業務での利用についても調査されています。詳細データにおいてその状況を見ると、人手不足解消や生産性向上を目的に「採用活動」にAIを取り入れているかどうかについて「取り入れている」とするものは40.5%となりました。取り入れているとする企業に採用活動のどのフェーズでAIを取り入れているかを聞くと「採用要件・ターゲット設定」「求人票作成」「適性検査」「書類選考」「面接」でいずれも取り入れているとする回答が7割前後となっています。

<詳しくは>。

[https://career-research.mynavi.jp/research/20260119\\_105919/](https://career-research.mynavi.jp/research/20260119_105919/)

<https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2026/01/kigyoujinzainizuchousa2025.pdf>

☆—————☆

### ◆◆ 気になる統計の動き

このコーナーでは、「行政の動き」「統計の動き」「労務管理」「研究・報告」等のテーマの中から、適宜取り上げて紹介しています。本号では、「統計の動き」として、公的年金制度の状況について見ていくこととします。

## ■ 令和6年度の公的年金制度の概況

厚生労働省は、2025年12月、「令和6年度厚生年金保険・国民年金事業の概況」を公表しました。これによりますと、公的年金に加入する者の数は6,757万人（前年度より12万人増）となりました。厚生年金の加入者数（会社員など）は、4,748万人（76万人増で過去最多）、国民年金第3号（扶養されている配偶者）は641万人（45万人減）となりました。適用拡大などもあり、パートやアルバイトの社会保険加入（これまで「扶養内」で働いていた人が厚生年金に加入するケースなど）も増え、専業主婦・主夫などの「第3号被保険者」が減少しました。また、受け取っている年金額については、厚生年金の受給権者の平均月額15万289円（厚生年金の平均年金額には基礎年金額も含まれています。）、国民年金の受給権者の平均月額は5万9,310円となっています。主要な数値を見ると次のとおりです。

### 1 厚生年金

(1) 被保険者数（年度末現在）・・・4,748万人

—厚生年金保険（1号）・・・4,285万人

—厚生年金保険（2～4号）・・・463万人

(2) 受給権者数 (1号、年度末現在)

- 老齢年金・・・1,609万人
- 通算老齢年金・25年未満・・・1,451万人
- 障害年金・・・74万人
- 遺族給付・・・622万人

(3) 受給権者平均年金月額 (1号、年度末現在。併設する老齢基礎年金額を含む)

- 老齢年金・・・150,289円
- 通算老齢年金・25年未満・・・67,703円
- 障害年金・・・99,171円
- 遺族年金・・・82,209円

## 2 国民年金

(1) 被保険者数 (年度末現在)

- 1号被保険者・・・1,368万人
- 3号被保険者・・・641万人

(2) 受給権者数 (年度末現在)

- 老齢年金・25年以上・・・3,345万人
- 通算老齢年金・25年未満・・・95万人
- 障害年金・・・233万人
- 遺族年金・・・22万人

(3) 受給権者平均年金月額 (年度末現在)

- 老齢年金・25年以上・・・59,310円
- 通算老齢年金・25年未満・・・20,859円
- 障害年金・・・74,501円
- 遺族年金・・・65,930円

<詳しくは>

<https://www.mhlw.go.jp/content/001617995.pdf>

☆

☆

◆◆ 《「厚生省人事労務マガジン」ダイジェスト》

ここでは、月2回程度発行される厚生労働省発行「人事労務マガジン」の最新号について、職業紹介事業者の法令等改正に関係ありそうなものを取り上げて紹介します。

■2026年2月4日発行 人事労務マガジン／定例第184号 ■

<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/001643814.pdf>

※ 関係法令の制定や改正に関する情報掲載はございません。

☆—————☆

..... 民紹協からのお知らせ .....

◆職業紹介責任者講習◆

職業紹介責任者の方はもとより、職業紹介責任者が行う従事者に対する教育として事業報告書に記載が可能です。是非当協会の講習を教育の機会としてご活用ください。

【集合型】

◇東京：3/2（月）、3/10（火）、3/24（火）、4/8（水）、4/20（月）、4/27（月）

◇愛知：3/18（水）

◇大阪：3/13（金）、4/15（水）

◇香川：4/10（金）

◇福岡：4/24（金）

【オンライン】

3/4（水）、3/6（金）、3/12（木）、3/16（月）、3/26（木）、3/30（月）、4/2（木）、4/6（月）、4/13（月）、4/17（金）、4/22（水）、4/28（火）

※お申込み・詳細は下記URL（民紹協ホームページ）からお願いします。

<https://www.minshokyo.or.jp/course/index.html>

■職業紹介事業実践セミナー（オンライン開催）

※従事者教育としてご利用ください

職業紹介事業者及び従事者の方々を対象に、実践的な知識及びスキル等能力向上を図るこ

とを目的として、オンライン（Zoom）で開催しています。「基本編」と「応用編」がありますので、経験等に合ったものをお選びいただくことができます。もちろん従事者教育として事業報告書へ記載可能です。

【基本編】

令和8年2月18日（水）14：00～17：00 Zoom

「職業紹介事業実務セミナー」

令和8年2月19日（木）14：00～17：00 Zoom

「紹介担当者のための労働基準法+求人・採用関係法セミナー」

令和8年3月11日（水）14：00～17：00 Zoom

「新・紹介担当者のための求人票セミナー」

【応用編】

令和8年3月3日（火）9：30～17：00 Zoom

「求職者確保に役立つ就職支援スキルアップセミナー」

令和8年3月13日（金）9：30～17：00 Zoom

「よくわかるホワイトカラーの職業紹介実務」

令和8年3月19日（木）13：00～17：00 Zoom

「外国人材の職業紹介セミナー」

※各セミナーのお申込み・詳細は下記 URL（民紹協ホームページ）からお願いします。

<https://www.minshokyo.or.jp/seminar/>

◇入会のご案内◇

公益社団法人全国民営職業紹介事業協会（略称：民紹協）は、職業紹介責任者講習会をはじめ、当協会独自の資格である「職業紹介士」認定制度、各種セミナー等、職業紹介事業にかかわるさまざまな活動を関係職業別団体等の協力を得ながら推進し、職業紹介事業者の皆様を強力にサポートしております。

民紹協の活動趣旨にご賛同いただける、皆様のご入会をお待ちしております。

※詳細はこちら（当協会ホームページ）をご覧ください。

<https://www.minshokyo.or.jp/join/>

□おしらせ

